

# 会 告

## ■ 土木学会・その他行事案内 ■

月 日	行 事	備 考
9月15日(日)～10月10日(木)	国土建設大博覧会	9号125ページ参照
9月20日(金)	中部支部第2回講演会	9号5 "
9月20日(金)	第15回毎日工業技術賞締切	9号8 "
9月21日(土)	論文集予約申込締切	9号1 "
9月21日(土)	第22回関東地区学生諸君のための映画会	9号1 "
9月26日(木)	関西支部第4回見学会(申込締切9月10日)	9号6 "
9月30日(月)～10月1日(火)	関西支部技術講座(申込締切9月16日)	8号5 "
10月9日(水)	第10回橋梁・構造工学研究発表会	9号2 "
10月10日(木)～11日(金)	第17回材料試験連合講演会	9号4 "
10月15日(火)～16日(水)	異形鉄筋に関する講習会(申込締切9月30日)	9号2 "
10月16日(水)～18日(金)	第10回腐食防食討論会(申込締切9月30日)	9号7 "
10月17日(木)～18日(金)	第15回全国都市計画協議会	5号63 "
10月19日(土)	大河内賞締切	9号7 "
10月21日(月)	第8回水理講演会	8号2 "
10月21日(月)～22日(火)	第6回地震工学研究発表会	9号3 "
10月22日(火)～23日(水)	第10回海岸工学講演会	8号2 "
10月25日(金)	構造用軽量骨材に関するシンポジウム	9号2 "
10月28日(月)～11月1日(木)	第6回標準化全国大会	8号4 "
10月29日(火)～30日(水)	中国四国支部第15回学術講演会	9号7 "
31日(木)	中国四国支部第3回見学会(申込締切10月15日)	9号7 "
11月10日(日)	関西支部年次学術講演会	9号4 "
11月7日(木)～8日(金)	秋のエクスカーション	9号6 "
11月15日(火)	工事管理講習会開催	9号4 "
11月20日(水)	第4回東洋レーヨン学科技術賞締切	9号8 "
11月21日(木)～22日(金)	第2回岩盤力学に関するシンポジウム	9号5 "
11月25日(月)	第10回風に関するシンポジウム(申込締切9月30日)	9号5 "

## 土木学会論文集購読について

論文集購読ご希望の方は、従来4月と10月の2回にわけてそれぞれ予約受付を行なっていましたが、事務処理を円滑にするため来年度からは年1回(3月)だけ予約受付を行ないますので、**昨年10月にお申込みになった方**、および**新規お申込みの方は38年10月～39年3月(論文集第98号～103号)までの会費300円をそえて9月21日**までにお申込み下さい。論文集は前金がかかりますので、昨年10月にお申込みいただいた方でも今回ご送金いただきませんと自然に発送を停止いたしますからご注意ください。

なお、11月以降に論文集を新規に申込まれる方は、毎年3月までお待ちいただくか、残部に限り希望者には実費でお求めいただく予定です。

## 第22回関東地区学生諸君のための映画会

定例による建設技術フィルムライブラリーと共催の第22回関東地区学生諸君のための映画会を下記のとおり開催いたしますので多数ご来会下さい。一般会員の方のご来会も歓迎いたします(入場無料)。

1. 開催日時: 1963年9月21日(第3土曜日) 14.30～16.30
2. 会 場: 土木学会会議室(東京都新宿区四谷一丁目・外濠公園入口)
3. 上映映画: 1. 海 壁 2. 防潮堤 3. 海に築く

## 異形鉄筋に関する講習会開催について

下記により標記講習会を開催いたしますから、ふるってご参加下さい。

共 催：土木学会・鋼材倶楽部

期日および場所：1963年10月15日(火) 於 広島市見真講堂大ホール(広島市小町1)  
1963年10月16日(水) 於 高松市香川県農協会館6階ホール(高松市寿町1)

教 材：異形鉄筋を用いた鉄筋コンクリート構造物の設計例(土木学会刊行 コンクリート・ライブラリー第3号)その他

会 費：無 料

申 込 方 法：参加希望者は氏名、勤務先、連絡先および参加場所(高松か広島)を明記の上、9月末日までに土木学会あてお申込み下さい。

申込者には学会から参加票をお送り致します。参加者に限り当日その票と引換で教材を無料でお渡しします。ただし、定員の関係で満員の際はお断りすることがあります。

講師および講演題目：( )は講演場所

わが国の異形鉄筋について	東京大学	国分正胤(広島、高松)
異形鉄筋を用いた鉄筋コンクリート構造物の設計例	{ 交通技術 国鉄	深谷俊明(高松) 池田康平(広島)
鉄筋コンクリート道路橋の設計について	{ 首都高速 首都高速	上前行孝(広島) 宮崎昭二(高松)
異形鉄筋の特徴について	国立大学	村田二郎(広島)
国鉄新幹線における鉄筋コンクリート橋について	国鉄	松本嘉司(高松)

## 構造用軽量骨材に関するシンポジウムの開催について

前号会告でお知らせ致しましたように、標記のシンポジウムを開催いたしますので多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 期 日：1963年10月25日(金)

2. 場 所：東京都内(決定次第お知らせ致します)

3. 講演内容：構造用軽量骨材の使用方法に関するもの(プログラム・その他詳細は次号でお知らせ致します)

付 記：コンクリート委員会では、明春はせん断力に関するシンポジウムを計画しております。

## 超高層および長大スパン構造に関する研究発表会

### ——第10回橋梁・構造工学研究発表会——

標記講演会を下記の通り開催することとなりましたので、ふるってご参加下さい。

主 催：日本学術会議橋梁・構造工学研究連絡委員会、土木学会、日本建築学会

日 時：1963年10月9日(水) 9時30分～15時55分

場 所：日本建築学会会議室(東京都中央区銀座西3-1 電話(535)6511)

会 費：無 料

講演概要：B5判タイプ謄写印刷(図版写真入) 価格未定(900円程度の見込み)

	題 目	
9.30～9.35	開会のことば	日本学術会議橋梁・構造工学研究連絡委員会委員長 仲 威 雄
(1) 9.35～9.50	高層建築に関する日本建築学会における調査研究成果	日本建築学会構造標準委員会委員長 仲 威 雄 同委員会幹事建設省建築研究所 久 田 俊 彦
(2) 9.50～10.05	建築物高さ制限に関する法令改正と構造技術上の問題	東京都立大学 竹 山 謙 三 郎
(3) 10.05～10.20	高層建築物の耐震設計	鹿島建設 武 藤 三 清
10.20～10.35	(討論5分、休憩10分)	
(4) 10.35～10.50	高層建築物の動的弾塑性設計	京都大学 棚橋 諒・小摺鐸二
(5) 10.50～11.05	高層建築の部材設計	東京大学 田中 尚・加藤 勉・東京工業大学 藤本盛久
(6) 11.05～11.20	高層建築における剪断力	東京大学 梅 村 魁
11.20～11.25	(討論)	
(7) 11.25～11.40	PC鉄道橋の長大化に関する問題点の研究	国鉄東京工事局 高橋克男・菅原 操・国鉄構造設計事務所 野口 功

- (8) 11.40~11.55 補剛トラスアーチ橋について 東京大学 平井 敦・武蔵工業大学 西脇威夫  
 11.55~12.00 (討論)  
 12.00~13.00 (昼食・休憩)
- (9) 13.00~13.15 鋼製煙突の耐風設計について 京都大学 横尾義貫・石崎澁雄  
 (10) 13.15~13.30 オリンピック施設中の Suspension 構造設計例 東京大学 坪井善勝  
 (11) 13.30~13.45 吊橋に対する風洞実験について 東京大学 平井 敦・中央大学 岡内 功・東京大学 宮田利雄・石川島播磨重工技研 小樋一郎  
 13.45~13.50 (討論)
- (12) 13.50~14.05 本州四国連絡橋に関する土木学会における調査の現況(未定) 土木学会本州四国連絡橋技術調査委員会  
 (13) 14.05~14.20 長大吊橋の固有周期と耐震設計について 京都大学 小西一郎・山田善一  
 (14) 14.20~14.35 長径間吊橋における衝撃について 東京大学 平井 敦・伊藤 学  
 14.35~14.50 (討論5分, 休憩10分)
- (15) 14.50~15.05 水平横荷重をうける吊橋の挙動 東京大学 平井 敦・中央大学 竹間 弘・東京大学 島田静雄  
 (16) 15.05~15.20 電子計算機による長径間吊橋の設計について 日本通交技術 雨宮敏男・西田繁一  
 (17) 15.20~15.35 電子計算機による吊橋計算の問題点とその一解決法 国鉄鉄道技術研究所 大地羊三  
 15.35~15.45 (討議)  
 15.45~15.55 閉会のことば 日本学術会議橋梁・構造工学研究連絡委員会幹事 平井 敦

## 第6回地震工学研究発表会開催について

前号会告でお知らせ致しましたとおり、下記により標記の研究発表会を開催いたしますから、ふるってご参加下さるようご案内申し上げます。

期 日：1963年10月21日(月)、22日(火)

会 場：土木学会会議室

### 第1日(10月21日)

- 9.00~9.10 開会挨拶 耐震工学委員会委員長 那須信治  
 9.10~9.35 (1) 殿山ダムにおける地震観測について 東大生研 岡本舜三・関西電力 吉田 登  
 9.35~10.00 (2) 各種のダムの地震観測 電源開発 中山謙治・吉田 正・馬場恭平  
 10.00~10.25 (1),(2) 討 議  
 10.25~11.00 (3) 1962年9月のイラン大地震被害 建研 表俊一郎・東工大 小林啓美・建研 中川恭次・建設省 川端繁夫・イラン建設銀行 中岡栄三  
 11.00~12.00 (特別講演) On the Nature of Earthquakes 東大 坪井忠二  
 12.00~13.00 (昼食)
- 13.00~13.25 (4) 矢板壁の模型振動実験(第2報) 港湾技研 荒井秀夫・第2港建 吉永敏雄  
 13.25~13.50 (5) Hパイルの水平抵抗に関する研究 港湾技研 林 聡・宮島信雄  
 13.50~14.15 (6) 岸壁裏込め間げき水による動水圧について 大分工専 松尾春雄・山口大 大原資生  
 14.15~14.40 (7) 軟弱地盤の動的地盤係数について 電力技研 堤 一  
 14.40~15.05 (8) 共振を利用した振動砂層ならびに地震時土圧測定装置 名大 市原松平・船舶技研 吉永昭男・井上令作  
 15.05~16.20 (4)~(8) 討 議

### 第2日(10月22日)

- 9.00~9.25 (9) 水中橋脚の減衰性状に関する研究 京大 後藤尚男・土岐憲二・横山康夫  
 9.25~9.50 (10) 水中構造物に働く地震力 九大 小坪清真  
 9.50~10.15 (11) 粘弾性体の振動 電力技研 畑野正  
 10.15~10.50 (9)~(11) 討 議  
 10.50~11.00 (休憩)
- 11.00~12.00 (特別講演) 建築物の地震に対する動的解析法について 東大 梅村 魁  
 12.00~13.00 (昼食)
- 13.00~13.25 (12) 橋梁基礎の震害と地盤 国鉄 小寺重郎  
 13.25~13.50 (13) 構造物の地震時応答と減衰常数 東大生研 久保慶三郎  
 13.50~14.15 (14) つり橋の固有周期と耐震設計法について 京大 小西一郎・山田善一  
 14.15~14.40 (15) 鉄道橋の衝撃率計算 国鉄技研 大地羊三  
 14.40~15.05 (16) 若戸橋動的載荷試験について 土研 大久保忠良  
 15.05~15.30 (17) 首都高速における構造物の地震観測 首都高速 宮崎昭二  
 15.30~16.30 (12)~(17) 討 議  
 16.30~16.55 (18) 国鉄委託 耐震構造設計研究委員会報告 耐震構造設計研究委員会幹事長 久保慶三郎  
 16.55~17.00 閉会挨拶 耐震工学委員会委員長 那須信治

講演概要：250円 B5判 50ページ程度 必要の方は学会あてお申込み下さいませお送りします。

懇親会：10月21日 研究発表会第1日終了後懇親会を開催いたします。ご希望の方は当日会場で受付けますのでお申込み下さい。 会費 500円

## 秋のエクスカーション予告

恒例の秋のエクスカーションを、本年は、千葉、茨城両県下の最近竣工した、銚子大橋、常陸川水門、鹿島灘水理実験所、原子力発電所などを、11月7日(木)～8日(金)に1泊2日の行程にて見学することとなりました。詳細につきましては、次号10月号会告欄でお知らせいたします。

行程概略：11時銚子駅集合—銚子大橋—常陸川水門—鹿島神宮—鹿島灘水理実験所—大洗(泊)—原子力発電所等—15時水戸駅解散 会費概算 3000円(汽車賃自弁)

なお、お申込みにつきましては、次号ご覧の上10月末日までにお願ひ申し上げます。

## 工事管理講習会開催について

最近各方面で注目を集めている工事管理に関する講習会を、下記のとおり開催致しますのでふるってご参加下さいますようご案内致します。なお、テキストはすでに学会誌第47巻第5号～8号(37年5月号～8月号)に掲載し、非常に好評を博した工事管理講座をとりまとめて使用致します。テキストの学会誌をお持ちでない方には、上記の工事管理講座を合本にして実費(150円)にて頒布致します。

### 題目・講師：

- |  |              |         |
|--|--------------|---------|
| 1. 近年の建設事業の進展にともなう諸様相と建設産業の実態特にその生産性について | 日本大学教授       | 渡辺 寛 治  |
| 2. 工事契約・示方書・見積り                          | 国鉄建設局調査役     | 杉 知 也   |
| 3. 工事の機械化に関する諸問題                         | 日本国土開発KK研究部長 | 伊 丹 康 夫 |
| 4. 工事経営・管理上の諸問題                          | 鹿島建設KK土木企画部長 | 佐 用 泰 司 |

日 時：1963年11月15日(金) 9.00～17.00

会 場：東京都第二庁舎

会 費：450円(テキスト代をふくむ)

300円(聴講のみ)

申込方法：会費を添えて、11月11日(月)までに、土木学会にお申し込み下さい。

## 第7回材料試験連合講演会

共 催：日本学術会議材料試験研究連絡委員会、化学工学協会、金属表面技術協会、※高分子学会、造船協会、※土木学会、日本鋳物協会、日本化学会、日本機械学会、日本金属学会、日本建築学会、日本航空学会、※日本材料学会、※日本セメント技術協会、日本鉄鋼協会、※日本非破壊検査協会、日本木材学会、溶接学会、窯業協会、※は幹事学協会

と き：1963年10月10日(木)、11日(金)

と ころ：日本学術会議(東京都台東区上野公園内)

講演部門：第I部 金属材料・第II部 非金属材料・第III部 一般

日 程 表：(I),(II),(III)は部門を示す。

時 間	第 1 日			第 2 日		
	1 会 場	2 会 場	3 会 場	1 会 場	2 会 場	3 会 場
9.30～12.00	(I) 1～7	(I) 8～14	(II) 1～7	(I) 15～21	(I) 31～37	(II) 8～13
13.00～17.00	特 別 講 演			(I) 22～30	(I) 38～46	(III) 1～9
18.00～20.00	懇 親 会			第2日は16.10終了		

特別講演：13.00 最近のレオロジー研究の動向 東京大学 森 芳 郎  
 14.20 環境脆化の概要と通性 住友化学工業KK 木 島 茂  
 15.40 最近の光弾性および光弾性の研究の発展 理化学研究所 西 田 正 孝

講演：講演題数 68 題であります。土木学会受付の 6 題のみを掲載いたします。全体のプログラムをご希望の方は、学会あてお申込み下さい。

月 日	会 場	時 間	講 演 題 目・講 演 者
10.10	3	9.50~10.10	前養生時間がコンクリートの諸強度、特に付着強度におよぼす影響について 小野田セメント ○河野 清・江村建三・木下幸一
〃	〃	10.10~10.30	コンクリートのせん断強度新試験法 早稲田大学 神 山 一
〃	〃	10.40~11.00	コンクリートの構造部材の乾燥収縮の推定について 小野田セメント 波木 守・○藤井敏郎
〃	〃	11.00~11.20	コンクリートのひびわれの安定性について 小野田セメント ○波木 守・大塚 明・木内 晃
〃	〃	11.20~11.40	コンクリートの熱特性に関する二、三の実験結果 電力技術研究所 ○徳田 弘・伊藤 勉
10.11	〃	14.00~14.20	支点到摩擦力を考慮した梁の挙動について 防衛大学校 浄法寺朝美・○加藤清志

懇 親 会：10月10日(木) 18.00~20.00 上野精養軒 ビヤパーティー 会費 700円

講演前刷：第I部 金属材料 46題 400円

第II・III部(合冊) 非金属材料・一般 22題 300円

申込方法：懇親会、講演前刷等のお申し込みは、10月1日(火)までに代金を添えて土木学会にお申し込み下さい。

## 第2回岩盤力学に関するシンポジウム開催について

土木学会では、本年4月より岩盤力学委員会(委員長 岡本舜三 東大教授)を設置し、岩盤力学関係の調査研究を行なっておりますが、今回下記により第2回岩盤力学シンポジウムを開催することになりましたので多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 期 日：1963年11月21日(木)、22日(金)
2. 場 所：東 京
3. 内 容：岩盤に関する問題点の研究、実験、測定等、トンネル、爆破問題等。

## 第10回「風に関するシンポジウム」講演募集

恒例により第10回風に関するシンポジウムが下記のとおり開催されますので、この問題に関する研究の論文発表を募集いたします。

期 日：1963年11月25日(月)

会 場：気象庁第1会議室(東京都千代田区大手町1の7)

申込締切：1963年9月30日(月) 土木学会必着

申込方法：a) 通信先、b) 所属学会、会員資格、c) 氏名、d) 講演題目、e) 灯の有無、講演所要時間、e) 連名の場合は講演者に○印をつけ300字以内の講演要旨をつけて土木学会へ申込んで下さい。

共催学会：日本航空学会(幹事)、土木学会外8学会

## 中 部 支 部 行 事 案 内

(名古屋市中区南外堀町6の1・名古屋水道局上水部拡張課内)

(電 話 市代表 (94) 5 5 1 1 内線 2 4 0・2 1 6・2 9 5)

### 第2回講演会開催について

1. 日 時：1963年9月20日(金) 13時~17時

2. 場 所：石川県婦人会館大ホール(金沢市広坂通り・石川県庁東側)

3. 演題および講師：国道8号線加賀地区の軟弱地盤工法について

建設省北陸地建石川国道工事事務所 所長 外内 孝・工務課長 牛村 明  
日本城郭における石積とその土工について 金沢大学工学部教授 喜 内 敏

4. 映 画：記録映画「我谷ダム建設工事」(石川県大聖寺川総合開発事務所製作)

5. 聴 講：無料、多数の御来聴を歓迎いたします。

6. そ の 他：なお、この講演会についての問合せは、石川県土木部河川開発課または中部支部へお願い致します。

## 関西支部行事案内

(大阪市天王寺区堀越町110番地 天王寺ステーションビル4階)  
電. 大阪 (716) 7881 番内線 336 番, 振替口座大阪 82599 番)

### (1) 第4回見学会 (阪神高速道路1号線, 地下鉄1号線工事見学会)

1. 期 日: 1963年9月26日(木)
2. 見 学 先: 阪神高速道路公団1号線架橋工事(西横堀川)  
大阪市交通局高速鉄道1号線工事(新淀川鉄橋)
3. 集 合: 9月26日13時15分までに大阪駅西口
4. 行 程: 13時30分大阪駅発(借切観光バス)——阪神高速道路1号線車中見学, 14.00 市立電気科学館屋上にて概要説明, 工事現場展望, 14.40 発——15.20 高速鉄道第二建設事務所着, 説明, 新淀川橋梁見学, 16.50 発——17.00 大阪駅北口着解散
5. 参 加 費: 100 円
6. 定 員: 100 名
7. 申 込 期 限: 1963年9月10日(火)
8. 申 込 方 法: 参加希望者は勤務先, 連絡先および氏名を明記のうえ, 参加費 100 円(送金は振替口座利用)を添えて 9月10日(火)までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。ただし, 申込期限内でも定員に達した時は先着順で決めますから早く申し込んで下さい。参加者には参加証をお送りしますから当日は必ず御持参下さい。

### (2) 関西支部年次学術講演会 (昭和38年度)

1. 日 時: 1963年11月10日(日)9時~17時
2. 場 所: 大阪大学工学部 電 大阪(351)6351番 大阪市都島区東野田9丁目, 市電停東野田下車北100m
3. 講演概要頒布: 論文抄録集(B5版, オフセット印刷)をつぎのとおり頒布いたします(ただし300部限り申込先着順)。  
正員 200 円, 学生会員 100 円, 非会員 300 円, 講演者(○印)は無料。送料未定(追って学会誌に広告の予定)
4. 聴 講: 無料, 来聴歓迎 ただし講演概要希望者は1963年10月21日(月)までに勤務先, 連絡先, 会員の種別, 氏名および講演会に出欠を明記のうえ上記講演概要代金(送金は振替口座利用)を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。出席者には講演概要引換証をお送りします。
5. そ の 他: プログラム等については学会誌10月号に登載します。講演申込方法については学会誌8月号を御覧下さい。

### (3) 第10回腐食防食討論会

- 共 催: 日本材料学会, 日本化学会, 土質工学会関西支部, 土木学会関西支部ほか11学協会  
申 込 先: 京都市左京区吉田泉殿1の101 日本材料学会気付  
第10回腐食防食討論会実行委員会 電話 京都(77)1912
1. 日 時: 1963年10月16日(水), 17日(木), 18日(金)の3日間9時より。
  2. 場 所: 兵庫県宝塚市 宝塚ホテル
  3. 教 材: 1部 900 円(送料共), オフセット印刷 240 ページ程度
  4. 申 込 方 法: 教材希望者は1963年9月30日(月)までに勤務先, 連絡先, 氏名を明記して教材費を添えて上記日本材料学会気付第10回腐食防食討論会実行委員会へお申し込み下さい。日本材料学会 振替口座番号 京都 26625 番

(4) 「ラジオ アイソトープによる土の密度と含水量測定法」講演会 (38年9月7日) 詳細は学会誌8月号をご覧下さい。

(5) 技術講座1号(曲線橋の理論と設計 38年9月30日(月), 10月1日(火)の両日) 詳細は学会誌8月号をご覧下さい。

8月号でお知らせした上記講座の参加費は200円の誤りにつき訂正します。



③大河内記念生産賞（生産工学の研究を行ないすぐれた発明または考案により産業上に顕著な業績をあげた事業体に対する賞）

本賞 賞状 副賞 賞牌

- (4) 推 薦 書：用紙は土木学会へご請求下さい。  
(5) 締 切：1963年10月19日（土）  
(6) 書類送付先：東京都新宿区四谷一丁目 土木学会

## 第4回東洋レーヨン科学技術賞候補者について

標記の件に関して下記要項によりふるってご応募下さい。

1. 候補者の対象：(1) 学術上の業績が顕著なもの (2) 学術上重要な発見をしたもの (3) 重要な発明をして、その効果が大きいもの (4) 技術上重要な問題を解決して、技術界に貢献するところが大きいもの
2. 科学技術賞：本賞金メダル、副賞 250万円（2件以内の予定）
3. 候補者推薦件数：2件以内
4. 推薦方法：所定の用紙に必要な事項を記載し、土木学会宛ご送付願います。
5. 推薦締切期日：1963年11月20日
6. 送 付 先：土木学会

## 第15回毎日工業技術賞の募集について

1. 表彰対象の選考の基準：(1) 独創性とみ、すぐれた内容をもつもの (2) すでに技術として確立されたもので経済性をもつもの (3) 国内における技術または産業の発展にとくに寄与したもの
2. 表彰を受ける人：(1) その技術の研究、工業化について功績のあつた研究技術者 (2) その研究成果を工業化した経営者 (3) 以上に対する協力者

備 考：a. 選考希望の方は土木学会へ申込用紙を請求し、所定事項を記入、必要な参考資料を添えて（2通）ご提出下さい。  
b. 締切 1963年9月20日  
c. 送付先 土木学会

## 土 質 実 験 指 導 書 刊 行

土木学会では、かねてより実験指導参考書の刊行を企てていましたが、このたび土木学会高校土木教育研究会が中心になり編集した土質実験指導書が完成し、広く一般の方々へも頒布しております。本書は、工業高等学校土木科の学生の勉学に資するために企画したものでありますが、大学および一般の土木技術者もご使用に便利のように JIS を広く引用し、またデータシートも数多くとり入れました。なお、引続き材料編を近く発行予定です。

体 裁：B5判 本文 40 ページ データシート 25 葉  
定 価：250 円（〒 60 円）

## 昭和38年増補改訂版 水 理 公 式 集 頒 布

最近の学問の進歩にともない従来の水理公式集では不十分なところがあり、土木学会では昭和37年に水理公式集改訂委員会を組織し、従来の公式集を全面的に検討し、ここに昭和38年増補改訂版を出版することができました。本書は従来の公式集を全面的に増補改訂し、水質汚濁・海岸などの問題も広くとり入れた技術者必備の書です。ぜひお求め下さい。

体 裁：A5判 603 ページ 外に資料広告 24 ページ  
定 価：1400 円 会員特価 1100 円（〒 150 円）

お知らせ：従来土木賞候補・吉田賞候補の募集は今まで一緒に会誌でお知らせしましたが、今回は都合により土木補賞候補募集は次号でお知らせします。